

授業力の向上と校内研修の在り方

～ 子ども主体の授業づくりを通して～



指導案バンク QRコード
令和7年3月

後志教育研修センター

序

『難しいことは易しく、
易しいことは重たく、
そして広く』
(最終)

～現場を見据えた調査研究を
目指して～

人と物が繋がる人間中心の社会「Society5.0時代」を推進する上において、デジタル化・オンライン化、そしてDXの加速化など社会背景が急激に変化する時代に突入しています。次代を担う子どもたちには多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる資質・能力を身につけることが求められています。

当センターでは北海道教育研究所連盟第18次共同研究『一人一人の子どもを主語にする学校教育の実現に向けて』を主題とする共同研究推進計画に参画し、『授業力の向上と校内研修の在り方～子ども主体の授業づくりを通して～』を研究主題として、3年次研究の1年目にあたる研究を推進してきました。

研究委員会では視点1として個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図るための授業改善として、学習指導研修講座と検証授業、そして指導案バンクの3つの内容から、視点2として教職員が主体的になるための研修の工夫と改善として、校内研修講座と検証授業の2つの内容から研究主題に迫っていく取組を行ないました。

取組の一つに情報収集として、アンケートの実施や研修講座における先生方の困り感の分析を行なってきました。その結果、変化が必要な中でなかなか情報が手に入れられず、困っていると共に、必要な情報が必要な人に届いていないことが確認することができました。

また、蘭越小学校を会場に開催した検証授業ではセンターが推奨している板書型指導案の活用して、毎時間の評価規準を明確にした単元計画を作成することによって、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図ることの検証をすることができました。

調査研究の中間報告という位置づけされる調査研究事業報告会は当日参加も含めて管内ほとんどの市町村から75名の参加を得ました。今回の大きな成果の一つに、現場の最前線に立っている教諭の先生方の参加が多く、研究協議では大いに質疑応答がなされ、大きな熱量を感じ取ることができました。

また、報告会の参加者の声から指導案バンクと板書型指導案が年度を重ねる毎に、学校や一般の先生方に広まっていることを実感しました。今後更に、センターから発行される研究紀要やリーフレットに指導案バンクのQRコードを入れていきますので、ご活用下さるようお願いいたします。

当センターの調査研究の内容を小樽・後志の教職員が「なるほど」と理解し、「この位なら自分でもやれるかな」という気持ちになってくれることを願います。その後、実際に各学校で使ってみて、その成果はどうであったのか検証され、最終的には子どもたちへ還元されることが一番大切なこととなります。そこで初めて当センターの調査研究の価値が生まれることとなります。

結びになりますが、所員を支えて頂いた校長先生、そしてご指導いただきました北海道教育庁後志教育局、教育関係機関の皆様へ厚く感謝申し上げます。発刊の言葉と致します。

後志教育研修センター
所長 長谷川 誠

令和7年3月

目 次

◇序

後志教育研修センター 所長 長 谷 川 誠

学習指導に関する調査研究委員会

【第1章】 研究の概要

【担当：森・菊地】

- 1 研究主題および副主題……………研究の概要－1
- 2 主題設定の理由……………研究の概要－1～2
- 3 研究仮説……………研究の概要－2
- 4 研究の視点……………研究の概要－2
- 5 研究計画……………研究の概要－3～4
- 6 研究構造図……………研究の概要－5
- 7 調査研究委員の経過報告……………研究の概要－6

【第2章】 研究の内容

I 研修講座

「校内研修」から

【担当：大塚・橋谷・秋森】

- 1 「学びに向かう力」研修パッケージの提案……………校内研修－1～10
- 2 成果と課題……………校内研修－10

「学習指導（授業づくり）」から

【担当：中村・山本・輪嶋】

- 1 1単位時間の授業づくり……………学習指導（授業づくり）－1～6
- 2 成果と課題……………学習指導（授業づくり）－6

「学習指導（授業改善）」から

【担当：工藤・中島・平間】

- 1 主体的・対話的で深い学びにむけた授業改善の視点……………学習指導（授業改善）－1～2
- 2 授業実践……………学習指導（授業改善）－2～4
- 3 協議・交流から、受講者アンケートから……………学習指導（授業改善）－4～5

II 検証授業について【担当：輪嶋・中村・菊地】……………検証授業－1～7

III 指導案バンクについて【担当：菊地】……………指導案バンク－1～4

IV 研修講座オンデマンド配信について【担当：菊地】……………オンデマンド配信－1

【第3章】 研究の成果と課題

◇あとかき

【第一章】

研究の概要

<第 1 章>研究の概要

1. 研究主題および副主題

授業力の向上と校内研修の在り方 ～子ども主体の授業づくりを通して～

2. 主題設定の理由

(1) 子供たちの生きる社会

グローバル化は社会に多様性をもたらし、急速な情報化が進んでいる。それが人間の生活を大きく変化させ、社会のあらゆる領域で今までに想像がつかない変革が起きている。その将来の変化が予測できない時代を前に、教育の在り方も新たにしていかなければならない時代に突入している。

(3) 子どもたちに求められる力

その時代において、子どもたちには、現在と未来に向けて、自らの人生をどのように拓いていくことが求められているのか。また自らの生涯を生き抜く力を培っていくことが問われている中、新しい時代を生きる子どもたち、学校教育に求められる力はどのようなものなのか。これまでの同一の学力を要素として、教える内容に重点を置いてきた学習指導要領から、「主体的な学び、対話的な学び、深い学び」という、学び方をより重要視されている。それは子どもたちに、5つの生きる力を学ぶことが重要であることを提言している。「主体的に生きる」「多様な人々と生きる」「協力して生きる」「感謝して生きる」「誇りにして生きる」力を学ぶことである。

(2) 求められる授業像

子どもたち一人ひとりにこれからの時代に必要な資質・能力をはぐくみ、生涯にわたって積極的に学び続けることができるようにしていくことが求められる。その実現には、授業改善が必須である。教師が一方的に教え込む授業から、子どもが教わったことを生かして自ら考え、判断し、表現して学び合う、そうした授業への転換である。

授業において、複数の選択肢から学習の課題や内容、方法等を選択・決定しながら学ぶ、「主体的な学び」が求められる試行錯誤を繰り返し、自分の学習の状況をふり返って把握し、学習の改善に向かって自ら学びを調整しようとする態度や、粘り強い取組を行おうとする態度を養うことが、子どもたちが生涯にわたって主体的に生活を送る基盤となる。

(4) 研究の方向性

これからの時代に求められる力を手に入れるためには、質の高い授業実践を行うことが必須である。また、このような授業を構成するためには、なぜこの学習が必要であるか理解し、どのように準備を進め、どのような態度で教師自身が授業に臨むべきかが大切である。これらを踏まえ、後志教育研修センター学習指導に関わる調査研究委員会では、「授業力の向上と校内研修の在り方～子ども主体の授業づくりを通して～という研修主題のもと、3年次研究の1年目の研究推進に取り組んでいく。

3. 研究仮説

仮説1

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図るための授業改善に向けて、授業づくりの指針を示すことで、管内の授業づくりに寄与することができる。

仮説2

教職員自身が学び続ける姿勢を大切にする研修を行うことに、工夫・改善を共有することで、研修づくりの一助になることができる。

4. 研究の視点

視点1 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図るための授業改善

- ・ 研修講座（授業づくり）～～経験の浅い教員と共に、授業づくりの方法を考える。
- ・ 研修講座（授業改善）～～～中堅の教員と共に、一体的な充実を図るための授業改善の方法について考える。
- ・ 検証授業～～～一体的な充実を図るための授業づくりについて、実践・検証を行う。

視点2

教職員自身が主体的になるための研修の工夫と改善

- ・ 研修講座（校内研修）～～校内研修の在り方について、研修担当の先生方とともに考える。
- ・ 検証授業～～一体的な充実を図るための方法について、考えるとともに、その学校の研修の方法を知り、よりよい校内研修の工夫について考えていく。
- ・ 指導案バンク～～授業づくりの参考としてもらえるよう、実践事例を広く集める。

<参考文献>

平成27年度 文部科学省 教育課程企画特別部会 論点整理

北海道教育委員会「北海道における教員育成指標 平成29年3月（令和5年3月改訂）

令和5年度 北海道教育研究所連盟 第18次共同研究 概要

令和6年度 文部科学省 今後の教育課程、学習指導及び学習評価等の在り方に関する有識者検討会 論点整理

5. 研究計画

(1) 年次計画と実際

【第1年次】令和6年度（2024年度）「情報収集の1年」

- 「研究主題」「主題設定の理由」「研究仮説」「研究の視点」の検討
- 資料収集とアンケート等により、現在の課題の整理
- 検証授業
- 研修講座「学習指導（授業づくり・授業改善）」「校内研修」の資料作成・講座の運営
- 指導案バンク整理・収集作業
- 調査研究事業報告会に向けた準備と発表 研究紀要の作成

【第2年次】令和7年度（2025年度）「情報収集・検討・発信の1年」

- 現状における効果的な内容の発信
- 検証授業
- 研修講座「学習指導（授業づくり・授業改善）」「校内研修」の資料作成・講座の運営
- 指導案バンク収集・整理作業
- 調査研究事業報告会に向けた準備と発表 研究紀要の作成

【第3年次】令和8年度（2026年度）「3年間の調査のまとめ」

- 発信した内容の整理・検討
- 検証授業
- 研修講座「学習指導（授業づくり・授業改善）」「校内研修」の資料作成・講座の運営
- 指導案バンク収集・整理作業
- 調査研究事業報告会に向けた準備と発表 研究紀要の作成

(2) 推進計画

① 所員による研修講座

6月5日（水）	研修講座「学習指導（授業づくり）」 ～明日の授業が楽しみになる1単位時間の授業づくり～ 対象：初任段階層（1～5年程度の経験年数） ○1単位時間の授業づくり ☆担当所員 ◎中村 輪嶋 山本
---------	---

<p>6月11日(火)</p>	<p>研修講座「校内研修」 ~全員参加の校内研修を目指して~ 対象：分掌チーフ・ミドルリーダー層（5年程度～）、研究担当者 ○研究主題解決のための研究仮説研究計画の立て方、まとめ方など ☆担当所員 ◎大塚 橋谷 秋森</p>
<p>9月18日(水)</p>	<p>研修講座「学習指導（授業改善）」 ~児童・生徒の学びに向かう力の育成を目指して~ 対象：分掌チーフ・ミドルリーダー層（5年程度～） ○主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善について ○学習評価の改善について ☆担当所員 ◎工藤、中島、平間</p>

② 検証授業

11月28日(木) 蘭越町立蘭越小学校1年1組 算数科 長坂 真奈美 教諭

③ 指導案バンク

昨年度、集めた指導案をより見やすい形にするために、ファイルを整理した。今後、広く指導案を集め、後志全体の学校で活用しやすい形を模索していく。

6. 研究構造図

22世紀まで生きる子どもたちに

- ・ Society 5.0～持続可能な未来社会の創り手として、技術革新や社会の変革を生み出していく力
- ・ 「生きる力」～3つの柱 知識・技能／思考力・判断力・表現力／学びに向かう力、人間性等
- ・ 学習指導要領の実施～主体的・対話的で深い学び／指導と評価の一体化

学校現場のニーズ

研修センターに期待される役割

授業力の向上と校内研修の在り方

～子ども主体の授業づくりを通して～

研究体制・方法

・ 検証授業 ・ 理論研究 ・ 研修講座「学習指導」「校内研修」 ・ 指導案バンク

視点1 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の
一体的な充実を図るための授業改善

- ・ 研修講座（授業づくり）～～経験の浅い教員と共に、授業づくりの方法を考える。
- ・ 研修講座（授業改善）～～中堅の教員と共に、一体的な充実を図るための授業改善の方法について考える。
- ・ 検証授業～～一体的な充実を図るための授業づくりについて、実践・検証を行う。

視点2 教職員自身が主体的になるための研修の
工夫と改善

- ・ 研修講座（校内研修）～～校内研修の在り方について、研修担当の先生方とともに考える。
- ・ 検証授業～～一体的な充実を図るための方法について、考えるとともに、その学校の研修の方法を知り、よりよい校内研修の工夫について考えていく。
- ・ 指導案バンク～～授業づくりの参考としてもらえるよう、実践事例を広く集める。

《仮説1》

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図るための授業改善に向けて、授業づくりの指針を示すことで、管内の授業づくりに寄与することができる。

《仮説2》

教職員自身が学び続ける姿勢を大切にする研修を行うことに、工夫・改善を共有することで、研修づくりの一助になることができる。

調査研究委員会 年間計画

回	日時	名称	内容	備考
1	5月29日(水) 所員会議後	第1回 調査研究委員会	①推進委員長、副委員長の選出 ②研究主題の確認 ③年間計画の作成 ④研修講座講師決定→講座内容の検討→ 事前研日程	研修センター 第一研修室
2	5月29日(水) 第1回調査研究委 員会後	第2回 調査研究委員会 (授業づくり)	①研修講座「学習指導(授業づくり)」事前 研修講座内容の確認・検討 ②レジュメの印刷、丁合等。	研修センター 研究室 中村T、輪 嶋T、山本T
3	6月5日(水)	第3回 調査研究委員会 (校内研修)	①研修講座「校内研修」 事前研修講座内容の確認・検討 ②レジュメの印刷、丁合等。	研修センター 研究室 大塚T、橋 谷T、秋森T
4	6月5日(水)	研修講座 「学習指導 (授業づくり)」 ----- 第4回 調査研究委員会	①運営、講師、参加 ※参加の都合のつく所員は参加。 ----- ①研修講座「学習指導(授業づくり)」 の事後研修	蘭越小学校 講師 中村T、輪嶋T、 山本T
5	6月11日(火)	研修講座 「校内研修」 ----- 第5回 調査研究委員会	①運営、講師、参加 ※参加の都合のつく所員は参加。 ----- ①研修講座「校内研修」の事後研修	研修センター 第一研修室 講師 大塚T、橋谷T、秋 森T
6	8月2日(金)	第6回 調査研究委員会 (授業改善)	①研修講座「学習指導(授業改善)」 事前研修 講座内容の確認・検討 ②レジュメの印刷、丁合等。	研修センター 研究室 工藤T、中 島T、平間T
7	9月18日(水)	研修講座 「学習指導 (授業改善)」 ----- 第7回 調査研究委員会	①運営、講師、参加 ※参加の都合のつく所員は参加。 ----- ①研修講座「学習指導(授業改善)」の事後 研修	泊小学校 講師 工藤T、中島T、平 間T
8	11月 クラウド上	検証授業事前研 第8回 調査研究委員会	①各研修講座の交流 ②検証授業事前検討	
9	11月28日(木)	検証授業① 第9回 調査研究委員会	①授業検証(個別の見取り) ②事後研 ③調査研究事業報告会に向けた報告内容 検討、役割分担	蘭越小学校
10	1月10日(金) 報告会の前	第10回 調査研究委員会	①研究紀要骨子、役割分担の確認 ②調査報告事業報告会に向けた最終確認	
11	1月10日(金)	調査研究事業 報告会	①プレゼン発表 ②運営、参加	
12	2月4日(火) 所員会議後	第11回 調査研究委員会	①研究紀要原稿持ち寄り、検討 ②来年度の研修講座の内容検討	
13	2月クラウド上		①研究紀要原稿の最終チェック	

【第2章】

研究の内容

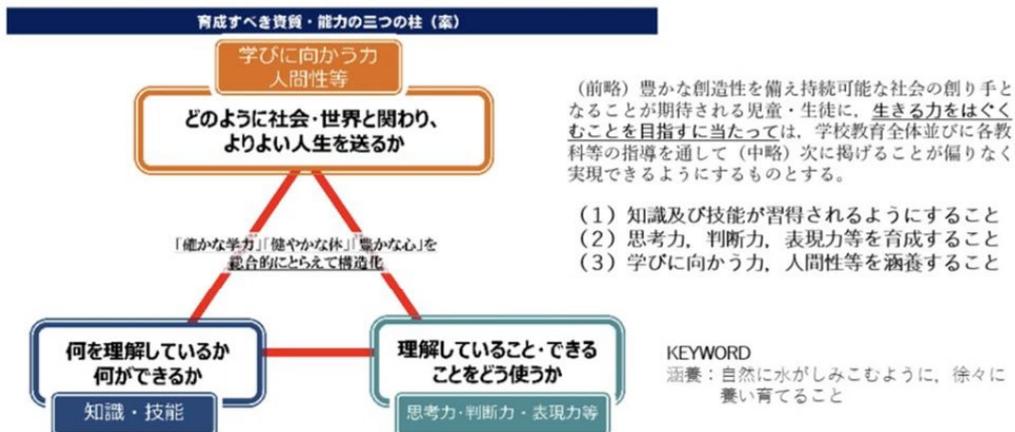
「学習に向かう力」研修パッケージの提案

この時間に考えたいこと

1. 学びに向かう力と校内研修
2. 「校内研修のパッケージ化」の具体
3. 自校で取り入れられそうな内容は？

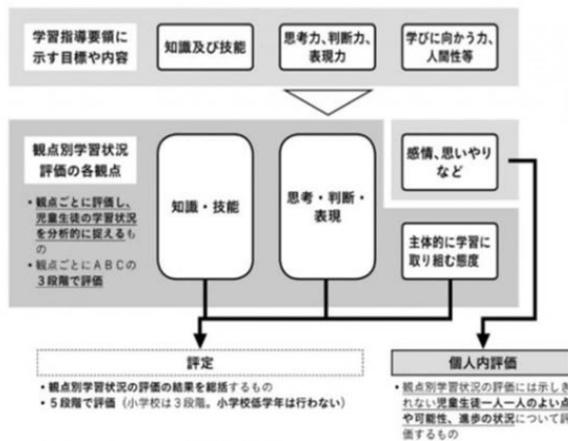
1. 学びに向かう力と校内研修

1) 資質・能力 3つの柱を整理しましょう



1. 学びに向かう力と校内研修

2) 学びに向かう力の涵養



学びに向かう力	
好奇心	わからないことについて「なぜ、どうして」などまわりに質問ができる など
自己主張	自分が何をしたいかを言える など
協調性	遊びなどで友だちと協力することができる など
自己抑制	自分がやりたいと思っても、人の嫌がることはがんばらない など
がんばる力	物事をあきらめずに挑戦することができる など

引用：後志教育研究センター 研究紀要No.95
ベネッセ教育総合研究所HP まなびのかたち より

引用：文科省国立教育政策研究所
「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料

1. 学びに向かう力と校内研修

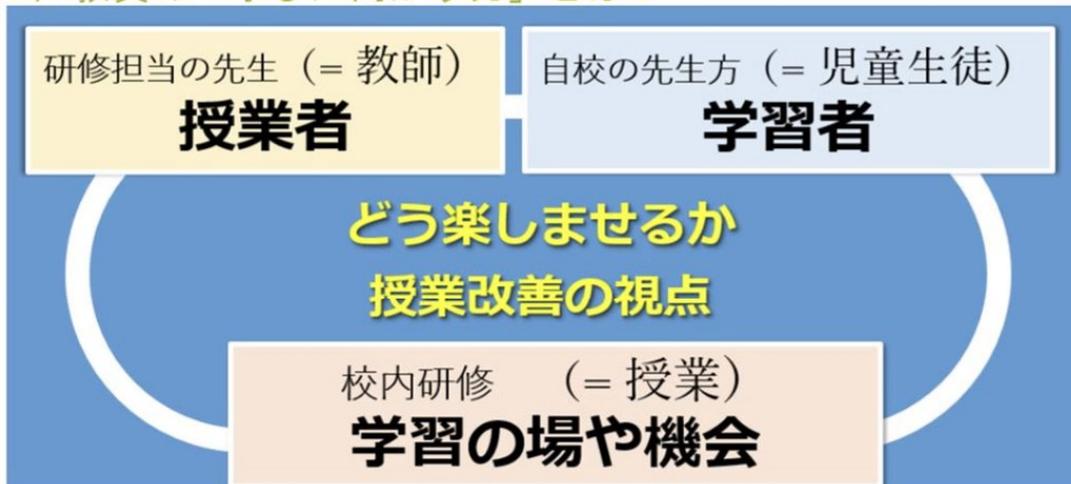
2) 学びに向かう力の涵養



Keyword 「楽しさ」「授業改善」

1. 学びに向かう力と校内研修

3) 教員の「学びに向かう力」とは？



1. 学びに向かう力と校内研修

4) 教師の「学びに向かう力」を涵養する校内研修

こんな校内研は嫌だ

- ・ 拘束時間が長い...
- ・ 発言の機会がない...
- ・ 自分の授業が役立っている気がしない...
- ・ 授業者に膨大な時間と労力がかかる...
- ・ 授業者になると、協議の場で責め立てられる... など

1. 学びに向かう力と校内研修

4) 教師の「学びに向かう力」を涵養する校内研修

どんな校内研修が理想？

これからの校内研修の形は？

**短時間
明確
低負担
主体的
実践的**

1. 学びに向かう力と校内研修

4) 教師の「学びに向かう力」を涵養する校内研修

校内研修活性化の条件整備

ノれる目的

経験豊富なベテラン
意欲的なミドルリーダー
悩めるビギナー

ムリのない日程

周到的な計画
時間を決め、伸ばさない

明確で有益な内容

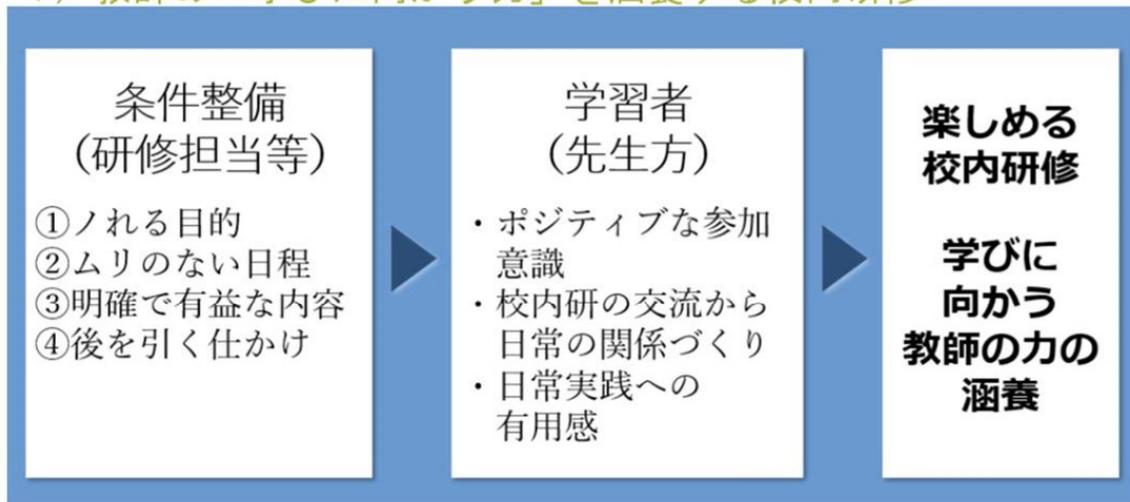
話し合いの柱・方向性を明確に
汎用性のあるまとめ
授業に生かす

後を引く仕かけ

続きは職員室で
意図的なグルーピング
担当からたえず発信

1. 学びに向かう力と校内研修

4) 教師の「学びに向かう力」を涵養する校内研修



1. 学びに向かう力と校内研修

4) 教師の「学びに向かう力」を涵養する校内研修

先生方の年齢構成
先生方のニーズ
児童や教師の実態・課題
学校がめざす姿

2. 「校内研修パッケージ」の具体

1) 主題研究とミニ研修

主題研究	ミニ研修
特定の教科・テーマに沿った内容 学校課題の解決や理想の追求	あらゆる教科・テーマが対象 身近な題材・タイムリーな話題 実態の交流や改善に即した内容
<ul style="list-style-type: none"> ● 授業者感想等 ● 小グループ協議 ● 成果・課題・改善案検討 ● グループ間交流 ● 全体交流 ● まとめ・ふり返り <p style="text-align: right;">] 板書等に まとめる</p> <p style="text-align: right;">45~60分程度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 導入・説明 ● 講義・演習等 ● まとめ・ふり返り <p style="text-align: right;">20~40分程度</p>

2. 「校内研修パッケージ」の具体

2) ミニ研修の具体

【講義型・教授型】	【話し合い型・全員参加型】
身近な方を講師として招く スクールカウンセラー 学習支援員 地域の警察官・消防署員 など	学級の実態や取組を交流する 学習規律・家庭学習 学級経営・係活動 など
自校の先生を講師とする 道徳推進教師 特別支援コーディネーター ICT機器に詳しい先生 専門指導に長けた先生 など	動画で共有する 動画で授業研 NITS校内研修用動画の活用
	体験型研修 ~プレルボールをやってみよう~ ~先生たちも収穫体験~

2. 「校内研修パッケージ」の具体

2) ミニ研修の具体

第3回研修 (ミニ研)

「学級経営」「生徒指導」について

期 日 令和4年 5月16日(月) 14:20~15:35
会 場 徳知安町立徳知安小学校
講 師 徳知安町立徳知安小学校 教諭

【概要】

「学級経営」について
「生徒指導」について

【成果】

・学級経営を見ながら、学級経営が必要なことや、学級経営とは何かなどの認識を深めることができた。
・学級経営の作り方について確認することができた。

【参加者の声】

・学級経営の作り方を改めて知ることができ勉強になりました。校長先生からの経営方針をしっかりと達成できるように、これからの学級経営をがんばっていきたいと思います。
・自分の経営を見つめ直すよい機会となりました。Aが4/18、Bが11/18、Cが3/18だったので、まずは、3つのCを各自することから取ります。積極的に自分の学級を見て学級経営をしていきたいです。
・学級経営者見直すことで、学校全体で目標を持って取り組んでいることを再確認できました。C評定の「コミュニケーションの活用」は計画的に活用していきたいと思えます。係活動の時間を確保するための方法はとても参考になったので、実践していきたいです。
・学級目標の振り返りは、長期休み前にフォームでやる予定でしたが、学級経営者は正直、書いて満足になってしまっていました。自分がいつでも見るところに貼っておこうと思います。



2. 「校内研修パッケージ」の具体

2) ミニ研修の具体

第5回研修 (ミニ研)

「GIGA」「いじめの認識」について

期 日 令和4年 6月16日(木) 15:05~15:35
会 場 徳知安町立徳知安小学校
講 師 徳知安町立徳知安小学校 教諭

【概要】

「GIGA」
「いじめの認識」について

【成果】

・chromebookの使い方について、具体的な例(シャムボード、フォーム、スプレッドシートなどの使い方)を通して共通理解を促した。
・いじめの認識についてNITSの動画を観ながら確認をした。認知件数の多さ・教師の思いやりという共通認識を促した。

【参加者の声】

・徳知安小に来て、まだ日が浅いためタブレットの使い方(シャムボードの配置、色の分け方の工夫、テキストマイニングなど)は知らないことばかりでした。まずは、自分自身が使いこなせるようになることを目標に、1年生でも活用していきたいと思えます。フォームを使いこなしたいです。
・タブレットの活用は、シャムボードはあまり使っていないからチャレンジしたいです。いじめの定義は、担任の時から教わっていたので再確認できました。一方で、認知件数の多さをフラスに戻えることは勉強になりました。子ども達が判別できない(嫌なこととされていること)を伝えやすい言葉・関係づくりはこれからは意識していきたいと思えます。



2. 「校内研修パッケージ」の具体

2) ミニ研修の具体

第2回研修 (ミニ研)

「俱知安プラン」授業作りについて

期 日 令和4年 4月15日(金) 15:05~15:35
会 場 俱知安町立俱知安小学校
講 師 俱知安町立俱知安小学校 教諭

【概要】

「俱知安プラン」についての説明

「授業作り」

【成果】

・2年目となる、俱知安プランの意義とシステムについて共通理解を深めることができた。6年間、指導を「継承」することで指導の蓄りの重要性を認識できた。
・授業の流れの説明と、適応問題の申身についての話では、共通理解を深めることができた。具体的な適応問題の申身について、再度確認することができた。



【参加者の声】

・俱知安プランの授業作りをすることで問題→課題→まとめ→振り返りの流れがしみこんで、毎日の授業が少しずつですが改善されているなど感じています。これからも続けたいと思います。
・KPI/MKPが学級に入っても授業をしても思えないために、日々の授業の流れを全ての教科で継いでいきたいです。
・授業の流れのイメージがつかめなかったのですが、大まかにでもイメージがつかめました。練習問題、振り返りを入れて45分の授業ができるよう、タイムマネジメントをしっかり行いたいと思います。「俱知安五つ葉」を1年までも早い時期に達成できるようにします！
・俱知安プランを4年間続けてきて、どんどん本格的になっていることを感じました。その過程を見てきた身として、中学校にも引き継いでいけるようにしました。具体的には、キャリアパスポートが中心となっていくので、新着の使っていきたいと思っています。



2. 「校内研修パッケージ」の具体

2) ミニ研修の具体

第3回研修 (ミニ研)

「GIGA」について

期 日 令和4年 7月14日(木) 15:05~15:35
会 場 俱知安町立俱知安小学校
講 師 教育委員会 山本さん

【概要】

「GIGA」新機軸について

【成果】

・スマイルネットの説明と使い方の共有を促した。(スマイルネット、スマイルノート、基礎学習、手書き機能など)
・MEXBITの機能の説明と使い方の共有を促した。(カガキング、テスト機能など)



【参加者の声】

・聞いたこともないような機能を今後、どう活用して子どもの学びを深められるのか。正否、不安な気持ちになりました。ただ、子ども達のタブレット練習も兼ねて、スマイルネットを使ってみたいと思います。まずは、一人で手書き入力、音声入力ができるように教え込みます。
・新機軸について、とても興味深いものでした。今までよりもさらに、ICTを活用した学習ができることに嬉しく思います。スマイルネットのドリルは、プリントを印刷しなくても子ども達のタブレットを使って学習できるのが素晴らしいと感じました。まずは、色々な機能を積極的に使っていくことを意識して、これから活用していきたいと思っています。大変、勉強になるお話をありがとうございました。
・子ども達の学習に効果的に使えるものを多く紹介していただきました。特に、ドローンが正三角形を描きながら自動で飛行したのが印象に残っています。今後、大切にしていきたいです。そういった教材の使い道と考えるので、実践例を具体的に紹介してくれると助かります。お返しは、ありがとうございました。



2. 「校内研修パッケージ」の具体

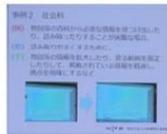
2) ミニ研修の具体

第4回研修 (ミニ研)

特別支援教育について

期 日 令和4年 7月26日 (水) 13:30~14:15
会 場 梶知安町立梶知安小学校
講 師 梶知安小学校 教諭

<p>【概要】 特別支援教育について</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> -指導の工夫を考えるための -手立てを考えるアローチ -書く数科等における配慮の例 	<p>【参加者の声】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェックリストを見て、「教員ってすごいな」と感じました。あれほどのことを意識しながらマルチタスクをこなしていく、もう少し世間の教員に対する見方が変わってほしいなあと考えました。 ・チェックリストをしてみると、各段意識しているけど、できていない部分が多い。特色を強調しながら指導の充実を図っていかないといけないと感じました。 ・チェックリストをつけてみて、授業情報を整理できるようにKTを使っていないなあ、有効に使えてないと感じました。さらに、普段から話していることが、クラス全員に伝わっているのか気になったので、具体的に、わかりやすく説明をしていこうと思いました。
<p>【参加者の声】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の授業と異なっていて驚かされた。お叱りを受けたり、改善したい部分があった。特に、行儀の厳しさを意識の強いに注意して欲しいと思います。継続として設定している点で、「お叱り」として停んでいる点です。 ・道徳の授業のよくなる！道徳力実力の高い点にのびている点かーと驚かされた。高評価聞いていました。学年末の評議の道徳力に反映させたいと思います。『教科書の例題や全章行くと読解の力になる。大得意内容』 	<p>【参加者の声】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の授業と異なっていて驚かされた。お叱りを受けたり、改善したい部分があった。特に、行儀の厳しさを意識の強いに注意して欲しいと思います。継続として設定している点で、「お叱り」として停んでいる点です。 ・道徳の授業のよくなる！道徳力実力の高い点にのびている点かーと驚かされた。高評価聞いていました。学年末の評議の道徳力に反映させたいと思います。『教科書の例題や全章行くと読解の力になる。大得意内容』



2. 「校内研修パッケージ」の具体

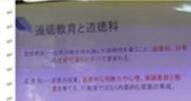
2) ミニ研修の具体

第5回研修 (ミニ研)

道徳 (評価) について

期 日 令和4年 10月13日 (水) 15:05~15:35
会 場 梶知安町立梶知安小学校
講 師 梶知安小学校 教諭

<p>【概要】 道徳科の評価のしかたについて</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> -道徳科と道徳の扱いについて共有された。 -道徳科の評価 (所定の書き方) について共有された。 -所定の書き方の実践を行った。 	<p>【参加者の声】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の授業と異なっていて驚かされた。お叱りを受けたり、改善したい部分があった。特に、行儀の厳しさを意識の強いに注意して欲しいと思います。継続として設定している点で、「お叱り」として停んでいる点です。 ・道徳の授業のよくなる！道徳力実力の高い点にのびている点かーと驚かされた。高評価聞いていました。学年末の評議の道徳力に反映させたいと思います。『教科書の例題や全章行くと読解の力になる。大得意内容』
<p>【参加者の声】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の授業と異なっていて驚かされた。お叱りを受けたり、改善したい部分があった。特に、行儀の厳しさを意識の強いに注意して欲しいと思います。継続として設定している点で、「お叱り」として停んでいる点です。 ・道徳の授業のよくなる！道徳力実力の高い点にのびている点かーと驚かされた。高評価聞いていました。学年末の評議の道徳力に反映させたいと思います。『教科書の例題や全章行くと読解の力になる。大得意内容』 	<p>【参加者の声】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の授業と異なっていて驚かされた。お叱りを受けたり、改善したい部分があった。特に、行儀の厳しさを意識の強いに注意して欲しいと思います。継続として設定している点で、「お叱り」として停んでいる点です。 ・道徳の授業のよくなる！道徳力実力の高い点にのびている点かーと驚かされた。高評価聞いていました。学年末の評議の道徳力に反映させたいと思います。『教科書の例題や全章行くと読解の力になる。大得意内容』



2. 「校内研修パッケージ」の具体

3) 計画づくりの参考に

2023 ミニ・メンター研修(教師力アップ) 年間計画

日	日時	時間	ミニ研修講座名(内容)	須知安小学校校内研修	講師
1	4月7日(金)	14:15~14:45		全体計画・授業授業・授業作り	
2	4月19日(木)	15:10~15:30	教育課程実践交流会(公祝館)		研修
3	5月11日(木)	15:10~	算数科(日常の実践から)		研修
4	5月18日(木)	15:10~15:30	学級経営①生徒指導	授業授業反省・交流授業に向けて	中野先生
5	5月25日(木)	15:10~15:30	GIGA研修	交流授業ブロック研修	植先生
6	6月15日(木)	15:10~15:30	学級経営②先生への支援		植先生
	(7月)	未定	GIGA?		山本さん
7	7月6日(木)	15:10~15:30	道徳①評価	(必要であれば)交流授業ブロック研修	中野先生
8	7月20日(木)	15:10~15:30	教員講習		田中先生
9	7月26日(木)	13:00~14:30	特別支援教育		支援学級先生
10	8月18日(金)	15:10~15:30		公開研究発表会ブロック研修	
11	8月24日(木)	15:10~15:30		公開研究発表会ブロック研修	
12	8月25日(金)			公開研究発表会	
13	9月21日(木)	15:10~15:30	国語科(日常の実践から)		大塚
14	10月12日(木)	15:10~15:30	道徳②(授業作り・昨今の動向)	交流授業ブロック研修	中野先生
15	10月26日(木)	15:10~15:30	書道(授業作り・技術等)		伊藤先生
16	11月2日(木)	15:10~15:30	道徳③(道徳のブロック交流授業を受けて)		中野先生
17	11月16日(木)	15:10~15:30		交流授業ブロック研修	
18	11月21日(火)			須知安プラン合同教育実践発表会	
19	12月7日(木)	15:10~15:30	教職員履修研修		教頭先生
20	1月11日(木)	未定	体育科(スキー研修)		植先生
21	2月29日(木)	15:10~15:30		反省・次年度計画	

研究カレンダー 2023年

月	日	研修	実施授業	行事
4月	7	研修①		開校式・誓いの式
4月	19	研修②		
4月	24	研修③		
4月	25	研修④		
4月	26	研修⑤		
4月	27	研修⑥		
4月	28	研修⑦		
4月	29	研修⑧		
4月	30	研修⑨		
5月	1	研修⑩		
5月	2	研修⑪		
5月	3	研修⑫		
5月	4	研修⑬		
5月	5	研修⑭		
5月	6	研修⑮		
5月	7	研修⑯		
5月	8	研修⑰		
5月	9	研修⑱		
5月	10	研修⑲		
5月	11	研修⑳		
5月	12	研修㉑		
5月	13	研修㉒		
5月	14	研修㉓		
5月	15	研修㉔		
5月	16	研修㉕		
5月	17	研修㉖		
5月	18	研修㉗		
5月	19	研修㉘		
5月	20	研修㉙		
5月	21	研修㉚		
5月	22	研修㉛		
5月	23	研修㉜		
5月	24	研修㉝		
5月	25	研修㉞		
5月	26	研修㉟		
5月	27	研修㊱		
5月	28	研修㊲		
5月	29	研修㊳		
5月	30	研修㊴		
5月	31	研修㊵		
6月	1	研修㊶		
6月	2	研修㊷		
6月	3	研修㊸		
6月	4	研修㊹		
6月	5	研修㊺		
6月	6	研修㊻		
6月	7	研修㊼		
6月	8	研修㊽		
6月	9	研修㊾		
6月	10	研修㊿		
6月	11	研修		
6月	12	研修		
6月	13	研修		
6月	14	研修		
6月	15	研修		
6月	16	研修		
6月	17	研修		
6月	18	研修		
6月	19	研修		
6月	20	研修		
6月	21	研修		
6月	22	研修		
6月	23	研修		
6月	24	研修		
6月	25	研修		
6月	26	研修		
6月	27	研修		
6月	28	研修		
6月	29	研修		
6月	30	研修		
6月	31	研修		

【成果と課題】

○成果

- ・ 1人で研究係を担当している、または初めて研究係を担当した、など不安や悩みを抱えた先生方と一緒に、演習・交流を行えたため、お互いにアドバイスをし合えたり、共感できたりと、「良かった!」「みんな困っていたんだ!」と正直に話し合うことができた。
- ・ 参加者の先生方に資料を持参してもらったことで、活発な話し合いとなった。
- ・ 昨年度の反省で上がっていた演習、交流の時間を長く取ることが出来た。

●課題

- ・ ワークショップ型の校内研修モデルは浸透しつつあるため、主題設定の有無やミニ研修等、より具体的な事例や実践紹介を行っていく。

自力解決から全体交流の流れ

今回は『自力解決』『小集団交流』『全体交流』をはっきり分けます！

◎自力解決で早くできた児童

- ①ちがう解き方を考える。
- ②友達と交流して考えを広げ深める。

◎自力解決で苦戦している児童

- ①先生にヒントをもらう。
- ②小集団交流のときに友達にヒントをもらう。

『自力解決』から
『全体交流』までの流れ

『全体交流』における
発問の工夫

全体交流を盛り上げ、より深い理解にするため…

『子ども達が悩む発問』を準備！

- ①「先生はどう仲間分けしましたか？」
⇒本時のまとめにつながる発問
- ②「分度器と三角定規、どちらの方法がいいですか？」
⇒話し合いを盛り上げ、深い理解につなげる発問

全体交流は『発表会』になってしまうことが多々あります。発表させて先生がまとめるのではなく、児童達が自分の考えを発表した上で、どんな主発問や繰り返し発問をするのか考えることが大切です。

全体交流の目的

180°より大きい角度の求め方をたくさん理解すること！

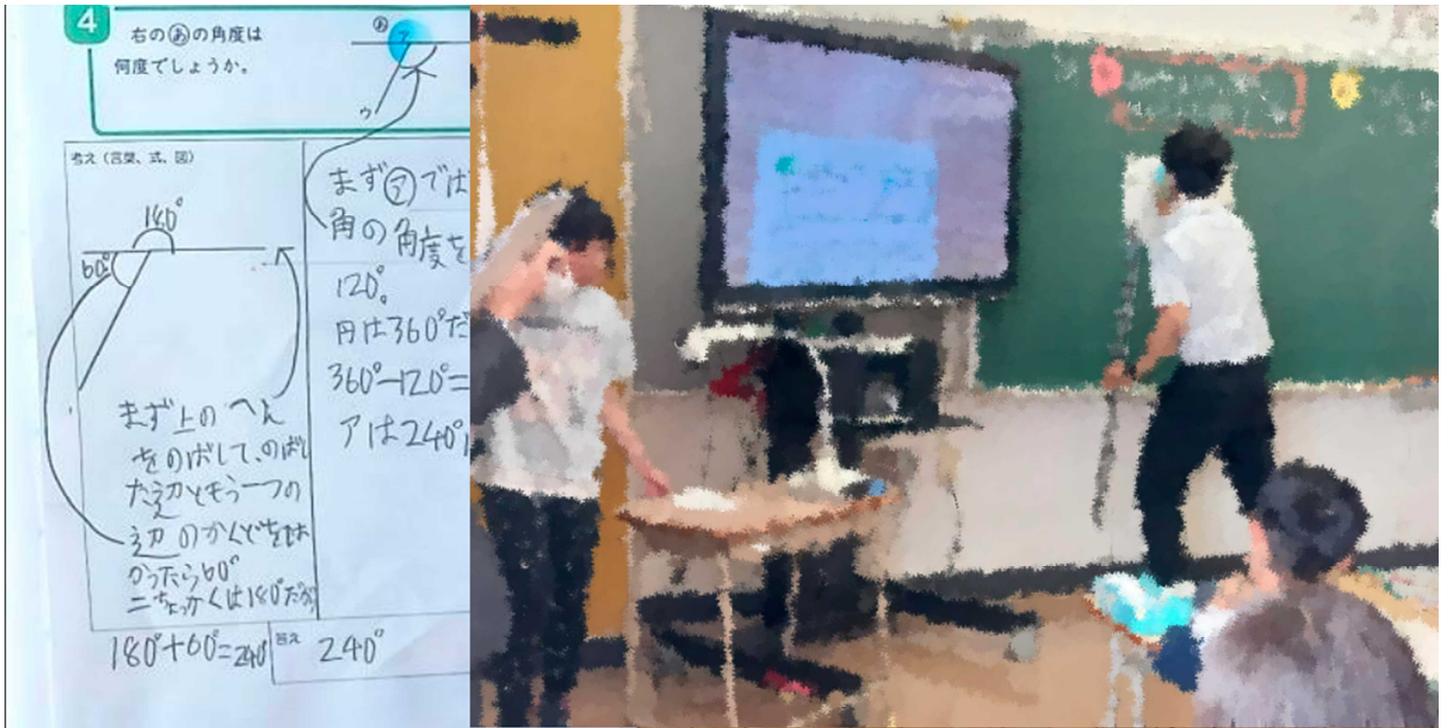
全体交流は…考えを広げ、深める時間！

分度器をそうやって
使えばいいのか！

360°から引く方法
もあるのか！

そこに補助線を
ひくのか！

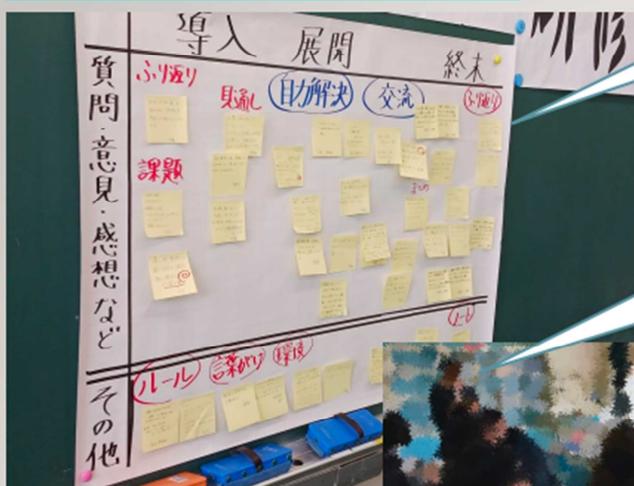
『全体交流』の目的



児童の実態を見取るための手立て 『ワークシート』や『発表の仕方』

事後研と講義について

事後研の交流



付箋にびっしり！
一人ひとりの思いが！

進んで、質問！
日常の授業づくりの悩みから



① 6月5日 研修講座「学習指導」(授業づくり)

① タイムマネジメント 例

「思考力・判断力・表現力」の育成をねらった例		「知識・技能」の習得をねらった例	
導入7分	学習課題 見通し	導入7分	学習課題 見通し
展開30分	個人で思考 ペア・集団で思考	展開30分	個人で習得 ペア・集団で習得
	個人で思考		まとめ
総まとめ5分	まとめ 振り返り	総まとめ5分	個人で習熟 振り返り

- 1 前時をふり返る
- 2 問題をつかむ
- 3 課題
- 4 見通しをもつ
- 5 自分の考えをもつ(自力解決)
- 6 交流(ペア、グループ、全体)
- 7 まとめ
- 8 練習問題でたしかめる
- 9 ふり返る

(例) 振り返り

がくしゅうないうよう 学習内容	^{じゅぎょう} ^{がくしゅう} ○授業で学習したこと ^{じぶん} ○自分なりにわかったこと
まな ^{かた} 学び方	^{がくしゅう} ^{なか} ^き ○学習の中で気づいたこと ^{ともだち} ^{まな} ○友達から学んだこと
これからの 学び	^し ○もっと知りたいこと ^い ○これから生かしたいこと



① 6月5日 研修講座「学習指導」(授業づくり)

② ねらいに基づいた評価規準 (例) 4年 算数「角」

発問
「180°より大きい角度を測るときは、どのように考えるとよかったですか」

反応・活動
① 角度を分けて考えるといいね。

価値づけ 2通りの180°より大きい角度の測り方を振り返り、まとめることで、角の大きさに応じて測りやすいほうを選択できるようにする。

③ 「180°より大きい角度のはかり方」のたしかめ

知技 分度器を使って、180°より大きい角の大きさを測定することができる。

これができるように！

① 6月5日 研修講座「学習指導」 (授業づくり)

③教科書の構成

国語 学習計画

三年 モチモチの木

五年 言葉と事実

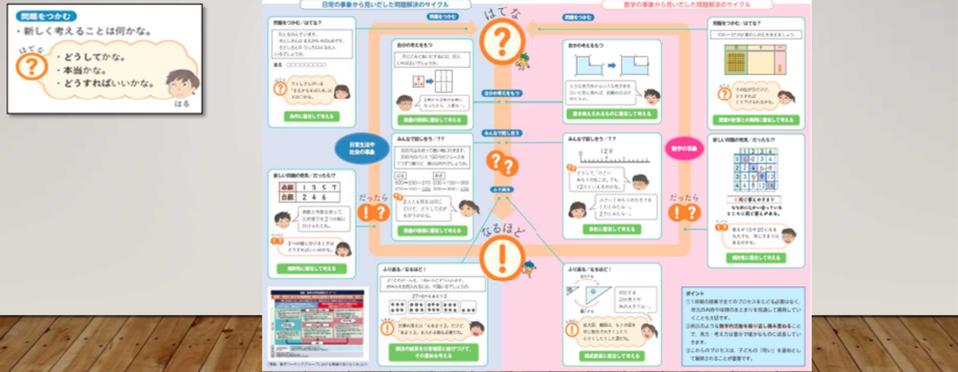
二年 えいっ



① 6月5日 研修講座「学習指導」 (授業づくり)

算数 教科書の基本姿勢 「“問い”の連続でつくる数学的活動」

はてな(?) → なるほど(!) → だったら(!?)



① 6月5日 研修講座「学習指導」 (授業づくり)

- 交流 (ペア、少人数)
- ①短時間に話す機会の確保
 - ②安心、自信
 - ③練習
 - ④教師側の支援、見取り
 - ⑤アドバイス、ヒント、知る
 - ⑥思考の広がり

話したくなる授業作り
話せる環境作り
意図をもって

何のためにペア交流しているのか
どんなよさがあるのか
子どもにも意識させること

話す、聞く時間
反応の仕方

- ☆低学年 → 自分なりに表現
...たくさんの児童が話せる、聞ける経験
- ☆中学年 → 分かりやすく説明できる
...高め合える練習、価値づける、伸ばしていく
- ☆高学年 → 的確に説明できる
...自分達で作り上げる授業

②9月18日 研修講座「学習指導」(授業改善)

13の授業改善の視点

主体的な学びに関する授業改善の視点

- 1 学ぶことに興味関心を持つ
- 2 自己のキャリア形成の方向性と関連付ける
- 3 見通しを持つ
- 4 粘り強く取り組む
- 5 自己の学習活動を振り返り次につなげる

対話的な学びに関する授業改善の視点

- 6 子供同士の協働を手掛りに考える
- 6A ペアや班で考える
- 6B 学級全体で考える
- 7 教職員や地域の人との対話を手掛りに考える
- 8 先哲の考え方を手掛りに考える
- 9 多様な表現方法を用いて対話する

深い学びに関する授業改善の視点

- 10 知識を相互に関連付けてより深く理解する
- 11 情報を精査して考えを形成する
- 12 問題を見いだして解決策を考える
- 13 思いや考えを基に創造する

チェックリストにして、
普段の自身の学習指導の振り返りを!

→授業実践の前行い、
参観する際の焦点化へ

②9月18日 研修講座「学習指導」(授業改善)

9/18 (水) 第6学年 教科: 算数
単元名: 円の面積 (8/10)

本時の目標 円とその他の図形を組み合わせた図形の求め方を、筋道を立てて説明することができる。

9/18 (水) 9/18 (水)

① 円やその他の図形を組み合わせた図形の求め方は?

② 円のどれくらいか考えたり習った図形をひいたりして面積を求める。

③ 下のようないずれの④の部分と⑤の部分では、どちらがたかくさんか食べられるでしょうか?

④ $10 \times 10 \times 3.14 \times 1/2 - 20 \times 10 \div 2$
 $= 157 - 100 = 57$ 57 cm^2

⑤ $10 \times 10 \times 3.14 \times 1/4 - 10 \times 10 \div 2$
 $= 28.5 - 50 = -21.5$ 28.5 cm^2

⑥ $10 \times 10 \times 3.14 \times 1/4 - 10 \times 10 \div 2$
 $= 28.5 - 50 = -21.5$ 28.5 cm^2

どちらもひく。

⑦ 全体交流「はじめ」
※面積の求め方のポイントを確認

⑧ 自分たちの言葉でまとめる。

⑨ 練習問題

⑩ 振り返り

主体的な学びに関する授業改善の視点
対話的な学びに関する授業改善の視点
深い学びに関する授業改善の視点

今回の授業実践においても、
板書型指導案に
授業改善の視点を
組み込み
具体的な場面を
チェックリストに

本時の評価	思考・創造・表現	主体的な学びに関する授業改善の視点	対話的な学びに関する授業改善の視点	深い学びに関する授業改善の視点	
A評価	円の一部とみられる図形とその他の図形を組み合わせた図形の求め方を図や式などを用いて筋道を立てて相手に伝えるように説明したり表現したりしている。	既習の図形の面積の求め方などをとくに最後まで粘り強く考え、相手に説明しようとした。よりよい求め方を見出そうと見たり聞いたりしようとしている。	1. 学習への興味関心 ①授業の進行に沿って結果の予想の検証 ②筋道の筋道との関連付け 2. 自己のキャリア形成との関連付け ①観点を示し、ふりかえりをさせる	6. 文意との筋道を手掛りに考える ①「ア」グループで考えさせる【図】 ②「C」を活用し思考の参考にする【図】 7. 先生との対話を手掛りに考える ①問いかけ、解決の仕方を助ける ②疑問をいくつか用意する	10. 全体交流「はじめ」 ①板書型の問い、筋道を精査させる ②板書に筋道の考えを置く 11. 情報を精査して考えを形成する ①話し合いの場面を作る ②共通点を筋道から考えさせる
B評価	円の一部とみられる図形とその他の図形を組み合わせた図形の求め方を図や式などを用いて考えたり表現したりしている。	既習の図形の面積の求め方などをとくに最後まで粘り強く考えたり、よりよい求め方を見出そうとしていたりしている。	3. 見通しを持つ ①既習の問いを考えさせる ②学び方の提案をさせる【図】 4. 粘り強く取り組む ①分からない時にどうするか助言する ②聞いている子に文意の考えを見せる【図】 5. 振り返りを次につなげる ①筋道への筋道につなげる	8. 本物の考えから考えさせる ①これまで習った図形の面積の求め方を確認させる。 9. 多様な表現方法を用いる ①他者と比較させる【図・板】 ②自分の言葉でまとめさせる【図】	12. 問題を見出して解決策を考える ①言葉に促して子ども同士で交流させる【図・板】

②9月18日 研修講座「学習指導」(授業改善)

	課題把握	課題追及	課題解決	振り返り
主体的	1 学ぶことに興味関心をもつ ・児童の流行に沿った終末の活動の確認 ・終末の活動との関連を確認	4 粘り強く取り組む ・分からない時にどうするか助言する ・困っている子に友達のを考える	2 自己のキャリア形成の方向性と関連付ける ・観点を示し、ふりかえりをさせる	
	3 見通しをもつ ・既習との違いを考えさせる ・学び方の選択をさせる	6 子供同士の協働を手掛かりに考える ・ペアやグループで考えさせる ・ICTを活用し他者の考えを参考にさせる	5 自己の学習活動を振り返り次につなげる ・終末への活動につなげる	
対話的		7 教職員や地域のひととの対話を手掛かりに考える ・調べ方、解決の仕方を助言する ・発問をいくつか用意する		
		8 先哲の考えを手掛かりに考える ・これまで習った図形の面積の求め方を確かめさせる		
		9 多様な表現を用いて対話する ・他者と比較させる ・自分の言葉でまとめさせる		
		10 知識を相互に関連付けてより深く理解する ・既習との違い・相違点を話させる ・黒板に児童の考えを書く	11 情報を精査して考えを形成する ・話し合いの焦点を絞る ・共通点や相違点から考えさせる	
		12 問題を見出して解決策を考える ・必要に応じて子ども同士で小交流させる	13 思いや考えを基に、創造する ・教師が答えを言わない ・違っていることをすぐに指摘しない	

学習過程へ
授業改善の視点と
具体的な活動を
配置すると...

授業改善のポイント	主体的・対話的・深い学び	対話的	深い学び
1. 学ぶことに興味関心をもつ ・児童の流行に沿った終末の活動の確認 ・終末の活動との関連を確認	6. 先哲の考えを手掛かりに考える ・調べ方、解決の仕方を助言する ・発問をいくつか用意する	10. 知識を相互に関連付けてより深く理解する ・既習との違い・相違点を話させる ・黒板に児童の考えを書く	12. 問題を見出して解決策を考える ・必要に応じて子ども同士で小交流させる
2. 自己のキャリア形成の方向性と関連付ける ・観点を示し、ふりかえりをさせる	7. 教職員や地域のひととの対話を手掛かりに考える ・調べ方、解決の仕方を助言する ・発問をいくつか用意する	11. 情報を精査して考えを形成する ・話し合いの焦点を絞る ・共通点や相違点から考えさせる	
3. 見通しをもつ ・既習との違いを考えさせる ・学び方の選択をさせる	8. 先哲の考えを手掛かりに考える ・これまで習った図形の面積の求め方を確かめさせる	13. 思いや考えを基に、創造する ・教師が答えを言わない ・違っていることをすぐに指摘しない	
4. 粘り強く取り組む ・分からない時にどうするか助言する ・困っている子に友達のを考える	9. 多様な表現を用いて対話する ・他者と比較させる ・自分の言葉でまとめさせる		
5. 自己の学習活動を振り返り次につなげる ・終末への活動につなげる			

②9月18日 研修講座「学習指導」(授業改善)

授業実践 (泊小学校 5・6年)



②9月18日 研修講座「学習指導」(授業改善)

授業実践 (泊小学校5・6年)

9/18 (水) 第5学年 教科: 国語
単元名: 大団圓いきとん (5/9)

本時の目標: 自分が好きな物語の中を調べ、その思った理由をまとめることができる。

9/18 (水) 第6学年 教科: 算数
単元名: 円の面積 (8/10)

本時の目標: 円とその他の図形を組み合わせた図形の求め方を、軌道を立てて説明することができる。

主体性向上の為のポイント

①子ども達の言葉や自分に合った方法で表現できるようにします。

②見通しが持てるように学び方やまとめ方の選択肢を示します。

③一人一人の学習状況を把握しながらファシリテーションに徹します。

評価	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A評価	<p>円の一部とみられる図形とその他の図形を組み合わせた図形の求め方を図や式などを用いて筋道を立てて相手に伝わるように説明したり表現したりしている。</p>	<p>既習の図形の面積の求め方などをもちに最後まで粘り強く考えて相手に説明しようとしていたり、よりよい求め方を見出そうと見たり聞いたりしようとしている。</p>
B評価	<p>円の一部とみられる図形とその他の図形を組み合わせた図形の求め方を図や式などを用いて考えたり表現したりしている。</p>	<p>既習の図形の面積の求め方などをもちに最後まで粘り強く考えたり、よりよい求め方を見出そうとしていたりしている。</p>

(3)9月18日 研修講座「学習指導」(授業改善)

協議・交流

○授業の流れ

- ・児童が1時間の見通しをもって自分たちで授業を進めている
- ・教師はファシリテーションに徹し、指示が少ない
- ・自然と交流が始まり、個別から協働への流れができています

○ICTの活用

- ・タブレットで考えを表現することによって他者参照が可能に
- ・全体での発表がないため、思考を深める時間が確保できる
- ・タブレットの他にノートやプリントなど、使いやすいものを選択できる

(3) 9月18日 研修講座「学習指導」(授業改善)

受講者からの声…自身の課題解決に向けた内容

○13の授業改善の視点

- ・授業づくりの際に立ち返る
- ・自身の授業を振り返るときに有効

○ICTについて

- ・交流の際に効果的
- ・児童の学びの蓄積として活用

○導入について

- ・いかに子どもたちを引き付けるか
- ・子どもたちの意欲につながる身近な題材
- ・既習事項との違いを明確に

○指導事項について

- ・学習すべき内容の習得はできたのか
- ・児童の思考を広げる・深めるための手立て

(3) 9月18日 研修講座「学習指導」(授業改善)

<成果>

・受講者に事前アンケートをとったことで、授業づくりの困り感を明確にした上で受講に臨むことができていた。また、グループ協議の際のグループ分けにも役立てることができた。

・日々の授業づくりでの悩みなどをたくさん話すことができ、様々なヒントを得るきっかけとなった。

・授業改善13の視点に沿った授業づくりによって、授業改善のポイントをわかりやすく示すことができた。

<課題>

・初任者層の先生が比較的多かった。10年～20年目の先生にも来ていただけると、より一層話し合いが深まる。

4 検証授業について

1 1月28日（木）実施
蘭越町立蘭越小学校
1年生 長坂 真奈美教諭 算数科



4 検証授業について

研究主題

授業力の向上と校内研修の在り方
～子ども主体の授業づくりを通して～

視点1

『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実を図るための授業改善

視点2

教職員自身が主体的になるための研修の工夫と改善

公開授業について

視点1

『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実を図るための授業改善



個別最適な学び

学習の個性化（道具の取捨選択）



協働的な学び

思考の整理・深まり

視点1

『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実を図るための授業改善



協働的な学び

教師の問い返しによる広がり・深まり



協働的な学び

構造的な板書による思考の整理

事後研と調査研究委員会の話し合い（視点1）

視点1

『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実を図るための授業改善

個別最適な学び

協働的な学び

『個別最適な学びと協働的な学び』の授業スタイルの共有

発達段階や児童の実態に合った授業スタイル

視点1

『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実を図るための授業改善

「自由進度学習」をすればいいのかな…

「問題解決型」の授業スタイルで…

「まとめ」にたどり着くまでは個別に…

『個別最適な学びと協働的な学び』のイメージがそろっていない…

視点1

『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実を図るための授業改善

個別最適な学び

協働的な学び

本時の指導事項を
押さえること

毎時間の評価規準を
明確にした単元計画

児童生徒一人一人を
正確に見取るための授業デザイン

校内研修について（視点2）

視点2

教職員自身が主体的になるための研修の工夫と改善



発達段階や児童の実態に合った授業スタイル

視点2

教職員自身が主体的になるための研修の工夫と改善

研修の内容

指導案の
形式

事後検証の
進め方

指導案検討の
進め方

授業の交流の
仕方

『校内研修観』 そのものが違う？

視点2

教職員自身が主体的になるための研修の工夫と改善

小学校10校

中学校7校

7校が『研修の進め方』に悩む

他校ではどのような
研修をしているのか。

いろいろな研修の進
め方を知りたい！

1年算数科「くらべかた」

〈単元目標〉

量の理解の基礎となる経験を重ねて感覚を豊かにするとともに、長さ、かさ、かさなどの量の大きさの比べ方を考える力を身につける。また、身のまわりにあるものの大きさに親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。

〈評価規準〉

知・技	長さ、かさ、広さなどの量を、具体的な操作によって直接比べたり、他のものを用いて比べたりすることができる。
思・判・表	身のまわりのものの特徴に着目し、量の大きさの比べ方を見いだしている。
主体的	身のまわりにあるものの量に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

〈単元計画（全9時間）〉

①	長さの意味、比べ方（直接比較）を理解する。
②(本時)③	長さの比べ方（間接比較）を理解する。
④	長さの任意単位による測定について理解する。
⑤⑥	かさの意味、比べ方（直接比較、間接比較）を理解する。
⑦	かさの任意単位による測定について理解する。
⑧	広さの意味、比べ方（直接比較、間接比較）、任意単位による測定について理解する。
⑨	広さを任意単位で表し、比べる。（じんとりゲーム）

関連する学習・活動

- ・ 2年算数科「長さ」
「長いものの長さ」
「水のかさ」
- ・ 3年算数科「長さ」
「重さ」

この単元で想定される「深い学び」のある姿

- ・ 「テレビと机の長さを比べられた。」➡タイプ①
- ・ 「テープに写し取ると、ものを動かさなくても長さを比べることができた。」➡タイプ③
- ・ 「いろいろなものの長さを、テープに写し取って比べてみたいな。」➡タイプ④
- ・ 「自分の定規は長さを測るのに使えないかな。」➡タイプ④

本時の目標
 直接比較できないものの長さの比べ方を考える。

学習活動・発問	児童の発言・考え	備考
1. 前時のふり返り 2. 本時の問い 「テレビの横との長さ」と先生の机の横の長さは、どちらが長い？」 3. 予想 4. 課題 5. 比べ方を考え、見通しをもつ。 6. 自分たちの考えをもとに、長さを比べる。 7. 長さ比べの結果と比べ方を全体で交流する。 8. 比べ方をグループピングする。 9. まとめ ⑤ ならべられないときは、○○するとくらべる ことができる。 10. ふり返り	①直接比較の比べ方をふり返る。 ・端をそろえて同じ向きに並べる ・曲がっているものはまっすぐに ・ハンカチは折って並べる ③直接比較ができないことを確認する。 ⑤比べ方をグループで考える。 「並べることができれば比べられる」という見通しをもつ。 テレビや机より長いものがあれば… えんぴつをつなげて長さを測れないかな うでを広げて測れないかな ⑧間接比較、任意単位による比較、その他の考え、にわけられることを確認する。 ⑨自分が納得した方法について、まとめの文を考える。 ⑩3段階で自己評価（挙手）	④自己評価の規準を伝える。「正しい比べ方を自分の力で考えることができるんだよ。」 ⑤⑥3人一組のグループで活動する。 ⑥見通しが持てない場合には、前時に使用した道具（毛糸、紙テープ、棒、えんぴつなど）を提示する。

B評価（ ）がA評価：直接比較できないものの長さの比べ方を自力で考えることができる。（思・判・表）

	導入	展開	終末
主体的な学び	・選択肢問題 ・授業内の活動のルーティン化 ・丁寧な課題設定 ・丁寧な前時の振り返り ・丁寧な見直し ・子ども達の言葉で課題を設定 ・子ども達にとって身近な問題の設定 ・單元を貫く帯活動 ・導入選び	・立場を明確にする発問！ ・教直線発問 ・ネームプレートの活用！ ・数直線の活用 ・ICTを活用した交流 ・軽い発問 ・「もしも、○○だったら…」発問	
対話的な学び	・教師の問い返し ⇒「みんなはどう思う？それでいい？」 ・効果的なペア交流（質と時間） ・子ども同士もをつなぐ全体交流 ⇒「○○さんはどうですか？」 ・相手を受け入れる反応の仕方！ ⇒「いいです。」「同じです。」	・ワークシートの活用	
深い学び	・本時のこれらの明文化【本時で付ける方は…】	・児童がまとめをつくる！ ・充実した問題演習の時間！ ・振り返りの時間を確保！	

Ⅲ 指導案バンク、オンデマンドについて 後志教育研修センター

指導案バンクのお知らせ

後志教育研修センターでは、後志管内の先生方に向けて、授業力の向上や校内研究の活性化を目指し、指導案バンクを始動しました。

明日の授業づくりのヒントとなるように、学習指導案や板書指導案、単元計画などを One Drive (クラウドフォルダ) にまとめました。

ぜひ、管内の先生方に指導案バンクを活用していただきたいと思います。また、先生方から指導案の募集もしています。よろしくお願いいたします。

指導案コンテンツの閲覧方法

①クラウドフォルダへアクセス

☆下記のアドレスから後志教育研修センターのフォルダ内にある小学校・中学校に進んでいただき、閲覧をしてください。

<https://siribesi->

my.sharepoint.com/:f/g/person/skc_siribesi_onmicrosoft_com/EuNfHewiwBILu5NDqLq21CwBrtFuRR3jaRIQ6-cC64M4ig?e=oeuGt4

☆右の QR コードからも閲覧が可能です。



②校種を選択する。

☆まず、小学校・中学校・特別支援の中から校種を選びます。

名前	更新日時	更新者	ファイルサイズ
小学校指導案	5月2日	後志教育研修センター	7個のアイテム
中学校指導案	5月2日	後志教育研修センター	9個のアイテム
特別支援	8月4日	後志教育研修センター	4個のアイテム

③教科を選択する。

☆次に、各教科の中から探している教科を選択します。

自分のファイル > 後志指導案バンク > 小学校指導案

↑ 名前 ↓	更新日時 ↓	更新者 ↓
国語	6月12日	後志教育研修センター
算数	6月12日	後志教育研修センター
道徳	6月12日	後志教育研修センター
理科	6月12日	後志教育研修センター
社会	6月12日	後志教育研修センター
家庭	8月26日	後志教育研修センター
保健	8月26日	後志教育研修センター

④学年を選択する。

☆そして、探している学年を選択し、クリックします。

自分のファイル > 後志指導案バンク > 小学校指導案 > 国語

↑ 名前 ↓	更新日時 ↓
1年	6月12日
2年	6月12日
3年	6月12日
4年	6月12日
5年	6月12日
6年	6月12日

⑤単元を選択する。

☆学年をクリックすると、単元名が出てくるので、閲覧したい単元を選択します。

↑ 名前 ↓	更新日時 ↓	更新者 ↓
<input checked="" type="checkbox"/> 詩を味わおう	8月4日	後志教育研修センター
天気を予想する	8月4日	後志教育研修センター
雪渡り	8月4日	後志教育研修センター
白神山地	8月4日	後志教育研修センター
言葉と事実	8月19日	後志教育研修センター
情報ノートを作ろう	8月19日	後志教育研修センター
新聞を読もう	8月19日	後志教育研修センター
水平線	8月19日	後志教育研修センター

～単元計画～



図1 再生可能エネルギー

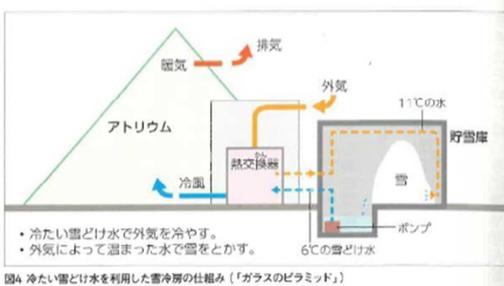


図4 冷たい雪どけ水を利用した雪冷房の仕組み（「ガラスのピラミッド」）

- 雪は新しいエネルギー・学習計画（六時間）
学習のめあて
- 筆者の考えを読み、説明の仕方の特徴をとらえよう
- 一 筆者の主張を、キーワードをもとに読み取ろう。
 - 二 雪はエネルギーとはどういうことだろう。
 - 三 雪エネルギーの利用の具体例を読み、筆者の主張に対して考えを持とう。
 - 四 雪エネルギーの可能性と課題を読み取ろう。
 - 五 筆者の説明の仕方に注目し、雪エネルギーについて自分の考えをもち、話し合おう。
 - 六 テスト

「きつねの窓」書評を書こう

babazon ブログランキング♪

単元の目標Ⅱこれができるようになる！

- ◎いろいろな言葉を知り、考えて使うことができる。
- ◎物語の全体をとらえ、人物像や表現について読むことができる。
- ◎文章を読んで理解したことをもとに、自分の考えを書くことができる。
- ◎事実と感想、意見とを区別して書くことができる。

時間	学習内容
1	言葉の意味は？
2	主人公の 筋書き の心情は変わった？①
3	主人公の 筋書き の心情は変わった？②
4	主人公の 筋書き の心情は変わった？③
5	窓に映った物は全部でいくつ？
6	このお話の「窓」は？ <small>あなたなら窓は何が見たい？</small>
7	正しい敬意の表し方はどれ？
8	正しい敬意の表し方はどれ？
9	テスト
10	あなたなら、窓でどのような物を見たい？大発表！
11	読書感想文・ポップ・帯・書評はどれ？
12	書評の書き方のコツ「6つ」がわかるか？
13・14・15	babazon 書評レビューを書こう。
16	レビューを評価しよう。

～板書型指導案～

国語用

本時の目標 **おのづから話の内容と心情を捉え取り**

B評価 捉え取りの仕方
A評価

振り返り	課題解決	課題追求	課題把握	
2 自己のキャリア形成の方向性と関連性で考えよう	6 学習全体で考えよう	4 振り返り取りまとめよう	1 学ぶことに興味・関心を持たせよう	主体的な学び
5 自己の学習態度を振り返り、次に活かそう		6 ペア学習で考えよう	3 見直しを促そう	
	10 知識を相互に関連付けよう	7 発問の材料を準備しよう		深い学び

◇学習指導案

国語科学習指導案（略案）

日時：令和3年10月26日（火） 4校時
 場所：伊知安町立伊知安中学校 3年D組
 生徒：3年D組 男子14名 女子16名 計30名
 授業者：

- 単元名（教材名）**
多角的に分析して書こう 読得力のある批評文を書く
- 単元の目標**
 ・具体的な題材に基づき、その価値などについて評価することができる。
 ・表現のしかたを考えたり資料を引用したりして、読得力のある文章を書くことができる。
 ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。
- 単元の評価標準**

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。【情報（2）ア】	①「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を獲得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。【B（1）イ】 ②「書くこと」において、表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。【B（1）ウ】	①粘り強く表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりして、学習の見通しをもって批評文を書こうとしている。【学習に向かう力、人間性等】

- 単元の指導計画**

時間	学習内容と主な活動	主な評価の観点	
		評価する内容	評価方法
1	○学習の見通しをもち、題材を選ぶ。 ①学習の目標と流れを確認し、学習の見通しをもち、 ②批評文について知り、題材を選ぶ。		
2 (15分)	○観点を決めて分析する。 ②観点を設定し、問いを考え、自分なりに答えをいく形で分析する。	【知識・技能】①	ワークシート
3	○構成を考える。批評文を書く。 ③分析を基に、読得力のある構成を考える。 ④引用する資料を選び、出典を明確にする。	【思考・判断・表現】① 【思考・判断・表現】②	ワークシート
4	○批評文を書く。学習を振り返る。 ⑦六百字程度で批評文を書く。 ⑧書いた批評文を読み合い、意見を交流する。	【思考・判断・表現】② 【主体的に学習に取り組む態度】	観察 ワークシート

(3) 本時の展開

	生徒の活動	教師の活動	形態	■指導上の留意点
導入 5分	○生徒の活動 ◆予想される生徒の考え	▽教師の活動		■タブレット・テレビ・板書を用意しておく。 ■（生徒）タブレット使用法では、閉じておく。
	○タブレットを用意し、ログインしておく。 ■観衆 広告を客観的に分析するため大切なのは、どのようなことだろうか。	▽テレビにて全体の流れを指示する。	個	
展開 35分	○全体の流れと本時の課題を確認し、本時の見通しを立てる。		個	■決定できない生徒は、用意したの中から選ばせる。
	○分析する広告を決定する。	▽机間指導	個	
	○グループ内で決定した広告を発表する。	▽PVSを配布。	グループ	
	○決定した広告に対する批評の観点を考え、それに対する自分の考えを書く。 ◆は別添PVSを参考		個	
まとめ 10分	○グループ交流を通して、アイデアを出し合う。	▽新たなアイディアは赤ペンで記入するよう伝える。	グループ	■観点を付け加えたり、交流がたつた観点について自分なりのように考えるが伝え合ったりする。
	○交流内容を整理する。		個	
	○客観的に対象を分析するために大切なことは何か、考える。 まとめる（例） ◆客観的に分析するために大切なことは、いろいろな面から対象（広告）について考えること。 ◆他の人の意見を聞くこと。 ◆多角的に対象について考えてみること。	▽再度、課題を確認する。 ▽机間指導	個	
	○まとめを確認する。 ○自分と異なる意見は赤ペンで記入する。		全体	■自由指名ではなく、意図をもって指名する。 （意図…本時のポイントをおさえている。発表を通して国語への自信をつける。）
	○次時の見通しをもつ。	▽次時の流れを指示する。		
	○タブレット片付け、プリント提出、号令	▽プリント回収		

研修講座オンデマンド

研修講座のオンデマンド配信

◆以下のリンクまたはQRコードから、研修講座の公開講義を視聴することが可能。

https://siribesi-my.sharepoint.com/:f:/g/personal/skc_siribesi_onmicrosoft_com/EgDfOdP-4U9Fvog5st5cq1QB8-C_lkflHZlpjsPVR8rlww

◆公開期間：令和6年10月末まで ※すでに配信終了しています。

◆公開講義：

6月11日（火）	校内研修
7月 3日（水）	ミドルリーダーによる カリキュラム・マネジメント
8月19日（月）	学校経営Ⅱ（教頭）



*外部講師による公開講義をオンデマンド配信

*都合により参加できなかった場合でも講義が視聴可

より多くの先生に
活用してもらえるように
改善を進めていく！

【第3章】

研究の 成果と課題

学習指導に関する調査研究 今年度の研究の成果と次年度に向けた課題

1. 視点1『「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図るための授業改善』の成果

●研修講座の中で授業実践公開

- ・研修講座 学習指導（授業づくり、授業改善）の両講座で、研修センターとしての取組を発信することができた。

●検証授業

- ・今年度は、蘭越町立蘭越小学校で1本検証授業が行い、一体的な充実を図るための方策について、話し合うことができた。

●板書型指導案

- ・研修センターで推奨している板書型指導案について、研修講座 学習指導（授業づくり、授業改善）の中で、受講者に伝えることができた。また、多くの学校で板書型指導案が活用されており、管内に広がっていることがうかがえた。

2. 視点2「教職員自身が主体的になるための研修の工夫と改善」の成果

●集合形式の研修講座

- ・校内研修の講座を行った。その中で、校内研修にかかわる課題や悩みなどを出してもらい、先生方同士で交流することができた。一方で、来年度以降の講座のために、12月にアンケートを実施した。

●検証授業後の校内研修

- ・今年度は、検証授業後、蘭越町立蘭越小学校の校内研修にも参加することができた。これまで広めてきたワークショップ型の事後研が行われており、活発に意見交流がされていた。

●指導案バンク

- ・今年度は、指導案をより後志管内の先生方がより使いやすい形を目指し、整理を行った。今後も指導案を収集し、発信していきたい。

3. 次年度に向けての課題

視点1

- ・情報発信をする際に、「誰に向けて」のものなのかを明確にする必要がある。特に、研修講座については、募集の段階で、対象を明確にしていく。
- ・検証授業の在り方について、より効果的な検証方法を模索していく。

視点2

- ・研修講座やアンケートから先生方が、情報がほしいが、なかなか手に入れる時間がないことがうかがえた。12月に実施したアンケートより、研修の進め方を中心にして、講座運営を行っていく。

あ と が き

ポストコロナの時代において、AIの活用や Society 5.0の実現など、社会が大きく変革していくことが予想されます。このような状況下において、学校教育には、生徒一人ひとりの個性や多様な学び方を尊重し、自ら学び、考え、そして行動できる力を育むことが求められています。

3年次研究がスタートした今年度、「先生方はどのように情報収集を行っているのか?」「どんなことに困っているのか?」という問いを軸に、研修講座の参加者や蘭越町立蘭越小学校の先生方と話し合い、一緒に考えてきました。その結果、先生方は情報収集に困難を感じていることや、多様な学び方に対応するための指導方法に課題があることが明らかになりました。

これらの課題を解決するため、次年度は「発信」を意識した活動を行っていきます。「研修講座」「検証授業」「指導案バンク」の三本柱を軸に、先生方の悩みを解決し、その成果を発信することで授業力向上に貢献したいと考えています。

末筆になりましたが、本研究紀要作成にあたり、お力添えいただきました研究委員の先生方をはじめ、教育関係機関の皆様にご心より感謝申し上げます。

令和7年3月

----- 研 究 委 員 -----

学習指導に関する調査研究委員会

研究委員長	輪嶋 隼	(蘭越町立蘭越小学校)	教諭)
副委員長	中村 かずえ	(余市町立黒川小学校)	教諭)
委 員	菊地 勇人	(京極町立京極中学校)	教諭)
	山本 啓太	(仁木町立仁木中学校)	教諭)
	大塚 葉月	(倶知安町立倶知安小学校)	教諭)
	橋谷 紘彰	(倶知安町立東小学校)	教諭)
	工藤 大樹	(泊村立泊小学校)	教諭)
	中島 佳美	(余市町立大川小学校)	教諭)
	平間 侑弥	(岩内町立岩内東小学校)	教諭)
	秋森 美南	(共和町立共和中学校)	教諭)

研究協力員

担当指導主事 熊坂 元宏 (北海道教育庁後志教育局義務教育指導班 主任指導主事)

研究紀要発行委員会

研修部長	清水 栄治	(京極町立京極小学校)	教諭)
研修講座主事	小山 正博	(倶知安町立倶知安中学校)	教諭)
調査研究主事	森 拓実	(倶知安町立西小学校)	教諭)